

令和5年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等： 教育学部

事業担当者の職・氏名： 教授 荒尾 浩子

内線電話番号： 9306

電子メール： arao@edu.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

オークランド大学教育学部との連携による海外教育研修の実施

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

ニュージーランドのオークランド大学教育学部との連携により、現地の学校訪問やオークランド大学教育学部の授業に参加、異文化体験を行う教育研修プログラムを実施する。海外の教育制度や教育現場の視察は、教員を目指す学生や現職学生に、自国の教育課題の相対化を通じて視野を拡大し、主体的学習力の向上や、教育に対するモチベーションを飛躍的に高める機会を持つ。以下が主な2つの目的である。

- ① グローバル化社会のための多文化教育 (文化に対応した実践) について学ぶ。
- ② 日本とは異なるタイプの教育システムについて学び、多様な環境で教えることについての学生の見解や考えを広げる。また学部の海外教育実地研究 A (2 単位)、大学院の海外教育特別実地研究 (2 単位) に充てる。

(2) 事業の背景・これまでの実績

本事業は平成 23 年度から開始し、新型コロナの影響で令和 2 年度、3 年度はオンラインでの研修となったが、令和 4 年度から現地実施が再開し、令和 5 年度は現地での 11 回目の実施となった。

(3) 事業実施結果

参加学生は教育学部の 10 名 (英語教育 7 名、学校教育 1 名、美術教育 1 名、数学教育 1 名)、大学院生 6 名の計 16 名であった。引率教員は教育学部の 2 名が担当した。2 日に中部国際空港を発ち、3 日に到着し、4 日よりオークランド大学教育学部でのプログラムが開始した。Kohia Terrace School、Freemans Bay Primary School、Takapuna Grammar School、Belmont Intermediate School を訪問し、異なる教育システム、授業方法、学校文化を体験的に学び、各学校長や担当教員の説明により知識を深めた。オークランド大学の講義である “Effective Pedagogy” や “Global Education Policy for All” を受講し、新たな知識を得た。プログラムを通して参加学生は、文化の違い、社会の多様性やそれを反映した学校教育のあり方、個々の学習スタイルや特性を尊重し能力を引き出す授業、や特別活動を見学し、教育観を拡充した。



Kohia Terrace School にて

Belmont Intermediate School にて

(4) 事業の意義

教育学部や教職大学院の学生は広い教育観を持つことは重要で日本の教育を今後、発展させる上で現状に固執するのではなく異なる文化、教育理念、教育システムを知る

ことは、柔軟な思考、態度を身に着け、教員としての資質を豊かにすることに繋がる。

(5) 事業の発展性

オークランド大学教育学部と三重大学教育学部の間では学部間協定が締結されており継続的な研修実施によりその関係を確固たるものにしてきている。これまでの実績を踏まえ、事業を継続すると共に、オークランド大学からの留学生の受け入れに発展することが期待される。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

参加学生はホストファミリーやオークランド大学の先生方、訪問先の学校の先生方、児童や生徒と活発な交流を行うことができ、学生の国際交流に資する活動であった。

(7) その他

令和5年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

令和6年3月2日から18日に「オークランド大学教育学部との連携による海外教育研修」を実施した。ニュージーランドのオークランド大学教育学部との連携により、現地の学校訪問やオークランド大学教育学部の授業に参加、異文化体験を行う教育研修プログラムである。海外の教育制度や教育現場の視察は、自国の教育課題の相対化を通じて視野を拡大し、主体的学習力の向上や、教育に対するモチベーションを飛躍的に高める機会となる。本研修の主な目的は以下の2つであった。

①グローバル化社会のための多文化教育（文化に対応した実践）について学ぶ。

① 日本とは異なるタイプの教育システムについて学び、多様な環境で教えることについての学生の見解や考えを広げる。またこの教育研修は、学部の海外教育実地研究A（2単位）、大学院の海外教育特別実地研究（2単位）に充てた。このプログラムは平成23年度から開始し、今回が11回目の現地実施となった。

参加学生は教育学部の10名（英語教育7名、学校教育1名、美術教育1名、数学教育1名）、大学院生6名の計16名であった。引率教員は教育学部教員2名（英語教育講座、荒尾浩子、理科教育講座、國仲寛人）が担当した。2日に中部国際空港を発ち、3日に到着し、ホストファミリーに迎え入れられた。4日はNew Market Primary Schoolを訪問し、校長先生の説明や児童との交流からNZの学校システムや小学校教育の実際の様子を学んだ。11日はFreemans Bay Primary Schoolを訪問し、最新の小学校教育の様子を視察した。13日はTakapuna Grammar SchoolとBelmont Intermediate Schoolを訪問し、授業や学校生活の様子、校長先生による説明によって、NZの中等、高等教育についての理解を深めた。その他の日程はオークランド大学の講義である”Effective Pedagogy”や“Global Education Policy for All”を受講し、教育資本や世界の教育動向について学んだ。またマオリ体験ツアーやワイヘキ島訪問を通じてマオリの文化や歴史、NZの社会構造を体験的に学んだ。17日は現地を出発し18日に帰国した。プログラムを通して参加学生は、文化の違い、社会の多様性やそれを反映した学校教育のあり方、個々を尊重し能力を伸長する授業を体験すると同時に現地の先生方の説明より多くの知識を得て、教育観を拡充した。

教職において広い教育観を持つことは重要であり、日本の教育を今後、発展させる上で現状に固執するのではなく異なる文化、教育理念、教育システムを知ることは、柔軟な思考、態度を身に着け、教員としての資質を豊かにすることに繋がった。参加学生はホストファミリーやオークランド大学の先生方や、訪問先の先生方、学校の児童や生徒と活発な交流を行うことができ、学生の国際交流に資する活動となった。

令和5年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

(一般公開しない)

We conducted an "Overseas Education Training Program in Collaboration with the Faculty of Education, University of Auckland" from March 2nd to 18th in 2024. This program involves visiting local schools and participating in classes at the Faculty of Education, University of Auckland to engage in cross-cultural experiences. Observing educational systems and practices abroad helps broaden perspectives through contextualizing our own educational challenges, significantly enhancing self-directed learning skills and motivation towards education. The main objectives of this training were as follows:

1. To learn about multicultural education for a globalized society (practices tailored to different cultures).
2. To learn about educational systems different from those in Japan and broaden students' views and thoughts on teaching in diverse environments.

Additionally, this educational program counted towards 2 credits for undergraduate field research abroad or 2 credits for graduate special field research abroad. This program started in 2011, and this was the 11th time.

There were a total of 16 participating students, including 10 from the Faculty of Education (7 in English education, 1 in school education, 1 in art education, and 1 in mathematics education) and 6 graduate students. 2 faculty members from the Faculty of Education (Hiroko ARAO, English education course, and Hiroto KUNINAKA, science education course) served as escorts. We departed from Chubu International Airport on the 2nd, arrived on the 3rd, and were welcomed by host families. On the 4th, we visited New Market Primary School, where we learned about the New Zealand school system and the actual situation of primary education through explanations from the principal and interactions with students. On the 11th, we visited Freemans Bay Primary School to observe the latest trends in elementary education. On the 13th, we visited Takapuna Grammar School and Belmont Intermediate School to deepen our understanding of secondary education in New Zealand through classes, school life, and explanations from the principals. Other activities included attending lectures at the University of Auckland on "Effective Pedagogy" and "Global Education Policy for All," etc, where we learned about educational capital and global educational trends. We also experienced Maori culture, history, and the social structure of New Zealand through Maori cultural tours and visits to Waiheke Island. We departed from Auckland on the 17th and returned home on the 18th.

Throughout the program, participating students gained more knowledge through explanations from local teachers while experiencing cultural differences, societal diversity, school education reflecting those diversities, and classes that respect individuals and enhance their abilities, thereby enriching their educational perspectives.

Having a broad educational perspective is crucial in the teaching profession. Rather than adhering to the current situation in Japan, understanding different cultures, educational philosophies, and systems leads to acquiring flexible thinking and attitudes, enriching the qualities of teachers and contributing to the development of education in Japan. Participating students were able to actively engage in exchanges with host families, lecturers at the University of Auckland, teachers and students in schools. The program contributed to international activities for students.